

ひの 議会だより

No. 98

平成 25 年 7 月

発行/日野町議会

明石市から草に魅かれて、日野町に居を
構える廣瀬俊介さんと、その指導に当たる
久代宏一さん。二人三脚でシイタケ栽培に
取り組むのは明日への希望に満ちている。
(7月5日、県下で初めて農業経営継承に
ついての合意書に署名)

6月定例会 主な内容

平成25年度補正予算 p2~4

意見書・議会運営委員会 ... p5

一般質問(3人) p6~8

常任委員会の新体制 p9~11

特集コーナー p12

地域医療を守る

日野病院 MRI(核磁気共鳴画像法)更新 購入補助金として2,480万円を負担



MRI 医療器械

医療器械更新に負担金

日野病院は、MRIを導入してから、10年以上が経過し修理の部品が無いことから新規購入をします。

購入費用は、1億円です。
国の補助金 2882万円
病院の借入金 3570万円
日野町負担金 2840万円
江府町負担金 530万円
伯耆町負担金 170万円
などの財源で整備されます。

平成25年第5回定例会は、6月11日開会し、会期を6月17日までの7日間とし、補正予算4件、その他1件、農業委員の推薦1件、教育委員の任命1件、意見書提出1件、計8件を原案のとおり可決、同意し閉会しました。

一般会計補正予算は、4873万円を追加して、総額を31億1263万円にするものです。

財源は、

国庫支出金 63万円
県支出金 △63万円
諸収入 213万円
基金繰入金 1319万円
町債(借入金) 3340万円

枠内は、一般会計、特別会計の主な支出です。

農業振興
新規就農支援事業
補助金 63万円

しつかり守る農林基
盤交付金 20万円

人・農地
プラン作成事業 34万円

黒坂水路補修助成 20万円

古峠山連絡道管理
組合特別負担金 9万円



(観光パンフレット)

観光パンフレット
増刷費 20万円

山村開発センター
清掃委託費 34万円
委託先変更のため
生活保護費電算シ
テム改修 63万円



山村開発センターの清掃



ひのっこ保育所

ひのっこ保育所
嘱託職員費 183万円
臨時職員費 92万円

消防団員退職報償金
(1人分) 63万円
除雪機械リース料 50万円



地域を元気に

コミュニティ

助成事業

助成地域 下榎2区

補助金 150万円

内容

テレビ、ストーブ、座布団、そば打ち道具、餅つき道具等を購入

移動販売車

燃料費補助

100万円

農業振興

地域おこし協力隊

支援事業

事業地域 上菅・福長

事業費 422万円

日野中学校 体育館屋根修繕費

818万円

黒坂小学校 修繕費

4万円

学校給食センター 調理用釜の修繕費

30万円

下榎隣保館

嘱託専任隣保館長を
職員兼任館長に変更

嘱託員報酬

共済費

報償費を減額

△282万円

特別会計へ繰出金 公共下水道事業

216万円

簡易水道

89万円

臨時会

平成25年第4回臨時会を、5月27日に開会し、条例の一部改正1件を原案どおり可決し、常任委員会・議会運営委員会委員の選任を行いました。

改正 ○国民健康保険条例の一部

2人世帯で、1人が後期高齢者となった場合、特定継続世帯として保険料の減額を定める条例改正です。

委員会の構成

5ページと9、11ページに委員長によって、これからの委員会の方針が書かれています。

介護特別会計

主任介護支援専門員研修費事業

手数料 2万円

借上料 △2万円

区分振替のため

公共下水道事業 特別会計

施設管理費

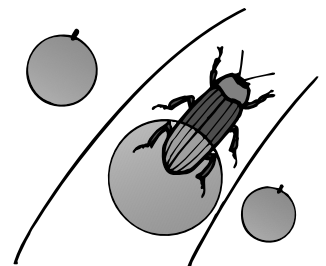
216万円

舟場処理場付近と津地地区のマンホールポンプの交換費

簡易水道特別会計

修繕料 89万円

老朽化による下黒坂地区簡易水道取水井水位計修繕費



農業委員会委員

(議会推薦枠)

中 菅

頭 本 佳苗さん(再任)

濁 谷

松本ゆみ子さん(新任)

教育委員会委員

野 田

中西 康夫さん(再任)

採決の状況

6月定例会は、意見書提出以外は、出席議員全員賛成で可決、同意しました。 欠席 佐々木求議員

農林振興公社



農林振興公社の農作業

農林振興公社の平成24年度の決算報告がありました。

高齢化耕作放棄地防止対策事業補助金制度が終了したので、町からの補助金で事業を行いました。

農作業受託事業は、荒起し作業等、受託事業作業が減少し、そば等の転作受託作業が増加しています。

利用権設定は昨年と同じ、転作等受託事業と合わせ、水稲、そば、ブロッコリー等の生産、販売を行いました。

78万円の赤字の主な要因は、収入においては受託作業が昨年よりすべて減少したこと。支出においては、そば事業費が多かったことがあげられます。

財団法人日野町農林振興公社は、平成24年12月19日から一般財団法人日野町農林振興公社に移行して、新たにスタートしました。事業内容については従来通り行います。

財団法人 日野町農林振興公社

平成24年4月1日から平成25年3月31日

事業活動収入		(円)
基本財産運用収入	基本財産利息収入	5,013
受託事業収入	耕転作業料	179,665
	荒かき作業料	235,205
	代かき作業料	364,302
	田植え作業料	1,039,796
	刈取り作業料	5,663,662
	運 賃	491,468
	転作受託作業料	5,141,850
	その他の作業料	1,890,004
そば等事業収入	粉、玄そば販売収入	1,717,880
	ブロッコリー	119,846
	水稲 その他	2,020,676
補助金等収入	日野町助成金	2,557,000
雑収入	機械・車両売上	1,090,710
	受取利息収入その他	29,090
その他の収入	駐車場管理	145,800
	戸別所得補償金	1,595,000
事業活動収入合計		24,287,967

事業活動支出		(円)
受託事業支出	賃金	4,587,093
	燃料費	1,096,635
	修繕費	870,550
	点検・整備費	501,946
	資材費	932,870
	自動車借上げ料	436,780
	農機具庫借上げ料	308,000
	保険料	327,394
	事業雑費	519,165
	備品消耗品	0
そば事業費支出	原材料	1,074,910
	賃金	738,200
	消耗品費	68,684
	光熱費	120,000
	資材費	169,875
	事業雑費	3,150
	管理支出	
管理支出	報酬・賃金等	4,342,000
	社会保険等	849,932
	借上げ料	10,000
	賃借料	24,050
	公租公課	1,600,017
	事務、会議費	179,058
	委託費	357,000
	法人・住民・事業税	1,050,100
事業活動支出合計		25,074,689

		(円)
	当期収支差額	△786,722
	前期繰越収支差額	21,034,708
	次期繰越収支差額	20,247,986

地方財政の充実強化を求める意見書

地方交付税の決定に当たっては、国の政策方針に基づいて決めるのではなく、国と地方で十分な協議のもとに決定すること。

記

一、地方公務員給与費の臨時給与削減により減額した給与関係経費等に係る財源については、完全に復元すること。

二、また、地方公務員給与費に係る地方交付税の算定については、国の一方的算定方法で決定するのではなく、地方自治体との協議、合意の下で算定のあり方を検討すること。

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済財政政策担当大臣あてに提出しました。

賛成者

竹永 明文
安達 幸博
小谷 博徳
松原 直人
松本 利秋
梅林 智子
中原 信男

反対者

中原 明
欠席者 佐々木 求

議会運営委員会報告

▼推進するための重点目標

一、議会の透明性を図る
一、住民との相互信頼に努める

一、政策判断、政策形成、政策点検、説明責任能力の向上に研修を重ねる

一、現地調査を進め実態の把握に努め、これを活かす
一、議会傍聴者の増加を推進するために諸策を講ずる

開かれた議会を目指して、このような事項を、実施できるように、積極的に委員会の役割を推進したく思います。

委員は次のとおりです。

委員長 中原 明
副委員長 松原 直人
委員 小谷 博徳
委員 佐々木 求
委員 松本 利秋

一、議会の運営に係わる事項
一、議長の諮問における事項を円滑に運営する

議員は住民の代表者であり、常に住民との対話を重ね、地域社会の活力ある発展を目指し、その実現に努力することとを理念として、研修を重ね、活力ある議会活動を推進するために、委員会では、次の事項について、研鑽を重ねます。

全国議長・副議長研修に参加して

第38回町村議会議長・副議長研修会が、5月28・29日、東京都で開催され、議長、副議長が参加しました。

「町村議会に期待する」東大金井利之教授の講演は、住民の議員や議会に対する風当たりは厳しい。それは町民の思いが議会の思いとかけ離れているからと指摘。

これからの自治体議会改革は、地域包括ケアの担い手として、議会が住民の信頼を勝ち取るかにある。

議員は、地区総合相談事務所を開設し、住民相談に対応する。この2つは、住民にとって直接目に見える貢献となり、議会不信払拭という課題解決策となると結ばれました。

シンポジウム「これからの町村議会のあり方」では、北海道鹿追町
岩手県西和賀町
茨城県大洗町
兵庫県播磨町

の各議長から取り組みの事例を聞きました。
4つの町議会の共通点はいずれも「議会基

本条例」を制定していること。「議会報告会」を行っていることです。

議会基本条例策定は、本来、議会が行わなければならない議会活動が行われていないので、「議会基本条例」を定めて行う。という背景があると感じました。

条例に基づいて行われている議会報告会や日曜・夜間議会は、最初は参加者が多かったが、回を重ねるごとに少人数になったといずれも同じ状況を聞き、議会改革、開かれた議会の課題解決の難しさを感じました。



研修会会場

観光宣伝に力を

◎ 観光ホームページを改善



松本 利秋議員

ようです。

また、5月には花回廊で全国植樹祭が開催され、秋には関連行事が行われることになっています。

自然豊かな本町を売り込む絶好の機会であると思います。

観光宣伝に力を入れ、インターネットの時代にあつた、観光ホームページの工夫が必要ではありませんか。



金持神社には毎日…・金持売店（札所）

町長 町のホームページにつきましては今年度事業で見直し、リニューアルしますので、関係のグループや観光協会の皆さんとも相談して考えていきたいと思っています。

各施設等の情報にリンクするような方法等も考えながら、なるべく多くの情報を入れたいと考え、検討してまいります。

議員 観光パンフレットは、金をかけてでも良いものを作り、町外に置くのも一考かと思っています。私が一番訴えたいのは、町の産業、観光行政として取り組む積極姿勢です。

観光でおいでになれば、食事処も必要であり、これらの連携が大切であると考えます。

町長 町は、下支えはしますが、やはりお店が協力しながら、切磋琢磨していただき、美味しいものを開発、皆さんに紹介して頂きたいと思っています。



福祉奨学資金は

議員 日野町福祉専門員育成奨学資金制度が平成15年に設けられていますが、制定後の運用状況、そして現在はどうなっていますか。

町長 この制度は、社会福祉士や介護福祉士、看護師、栄養士、保健師、保育士などの福祉専門員の資格を取得するための町独自の奨学金貸付制度で、5年間で募集は終わりました。

5人が受けられ、その内1人が資格取得後に町内の事業所に勤めておられ、その方以外は、町外に出ておられます。

議員 貸付制度を再開される考えはありませんか。

町長 今のところ再度貸し付け募集する考えはありません。

議員 人材育成は長い期間をかけて育てることが大切です。

町長 基本的には、町内出身者の方には町内で働いて頂くべく努力をしています。

保育士につきましては、西部町村会で人材を募集し、採用試験をしています。



小谷 博徳議員

国の補助金 町民に公開を

答 今後研究したい

議員 事業によっては、国が全額補助してくれる有利な補助金があります。

町は、どのように取り扱っていますか。

町長 補助金について、活用できるものは、可否を検討し対応しています。多種多様な分野と規模があり、情報提供は困難と思われます。

議員 農地・水・環境などの補助金は、多面的に使うことができます。本町は、10集落に満たない取り組み状況です。

町長 地域、集落により温度差があり、すぐ取り組める集落やそうでない集落、あるいは理解できない集落もあります。

議員 理解してもらうように



補助金を活用して購入した除雪機

汗をかくのが役場の仕事の一つと思います。

厚労省の「支え愛事業」上限250万円の補助金ですが、町の情報開示がなく本町では真住地区が締切りぎりぎり応募。100万円の除雪機を備え、地域内高齢者の除雪労力の軽減化と安心して住める地域づくりに役立っています。

町長 国も枠があり、一町に一カ所か二カ所とおもわれます。

国は継続性がなく3年たったら止めてしまう。

私はせめて10年間は継続してほしい。そうすることが中山間地を救うことであると言いつづけています。

議員 継続を言い続けること

は必要ですが、たとえ3年であっても5集落に導入すると15台の除雪機が備えられます。問題は、こんなに有利な補助金制度を広く町民にお知らせする姿勢が必要と考えます。

町長 出来るだけ情報提供をしていきたいと思っています。

集落支援員導入を

議員 集落機能の低下を職員の地区担当制や、高齢者見守り支援で補えるかどうか。私は非常に危惧しています。

町長 高齢者支援は、福祉の政策であります。

必要であるならば検討したいと思っています。

議員 総務省が350万円の人件費で集落支援を行う制度があります。

この制度で農業関係や町の地域活性化の補助金などを使った、地域活性化策と、申請事務手続きができれば、少しは地域機能の



移動販売車

地盤沈下を防止出来ると思います。

町長 農地保全や集落の事務支援などが本場に必要なのか、私の耳には入ってきません。必要であるならば研究をしてみます。

社会体育館の活用は

答 解体を検討



安達 幸博議員

議員 当初予算審議の時、根雨社会体育館の雨どい修繕費は計上されているか尋ねた折、



自治会運動会（根雨社会体育館）

「予算化していない。解体を考えている」と答弁がありました。

初めて聞くことでありその経緯等と、この体育館の耐震性と利用状況をお聞きします。
町長 昭和31年に、鉄骨づくりで建築され、根雨中学校体育館として活用。その後根雨社会体育館として町民のスポーツ活動の普及奨励を目的に

活用しています。

平成元年に屋根等一部改修し、平成6年にふるさと創生1億円事業の一部を活用して床張り等の改善をしました。耐震構造にはなっておらず修繕を重ねながら使用しています。

主な利用は、剣道教室、フットサルや地区運動会、踊りの練習などで、平成21年度に比べると利用回数は半減しています。

雨どい修繕に伴い見積もったところ、屋根構造材等根本的な修繕が必要であり、耐震補強を考慮すると6000万円程度が必要です。

現在の利用状況、修繕経費等を考え、社会体育館は廃止解体の方向で検討しています。
議員 費用対効果を考え解体を検討とのことですが、他の活用等は考えないのですか。

たとえば、福祉ゾーン内ですから、介護予防等のトレーニング施設はどうですか。

町長 社会体育館をそのまま活用するかは別に、立地的には、高齢者福祉に係る活用も十分考えられる場所ではないかと思っています。

現在、町では介護予防のほかに教室や公民館のニュースポーツ等で、地域にでかけて高齢者の皆さんの体力づくり、筋力アップを進めています。高齢者トレーニング施設は、一カ所に集まるには交通手段等の問題もあります。日ごろ地域でウォーキングや筋力、体力づくりの意識を高めることが必要と考えます。
議員 解体については、利用関係者、自治会に丁寧な説明をし、議会等で議論を深めていくべきだと思います。



高齢者介護予防教室（特養あいご）

町長 以前から他の活用はないかなど協議はしていました。雨どい破損をきっかけに、解体を検討しました。手順など、事前の協議の調整ができていなかったことは、お詫びします。

議会広報 常任委員会 報 告

出かける議会に

議会広報調査特別委員会は、5月27日より常任委員会となりました。

議会広報紙発行に、広聴の役割が加まりました。

広聴は、出かける議会として、町民の皆さまのご意見、ご要望を自治会やサークル単位で、お聴きして町政に反映する活動です。

開催計画を募集します

どうぞお気軽に、開催を計画していただき、議会事務局（電話72・0335）までご連絡ください。

議会報告会（出前議会）

議会報告会を兼ねたご意見、ご要望を聴く自主開催を考えたいと思います。

広報紙の柱

広報紙は、

①議案と審議の記事

②一般質問

③議会活動の記事

④住民登場

⑤表紙には魅力ある写真を使い、読みやすい紙面づくりを目指します。

また、ホームページ議会編の充実にも取り組んで行こうと思います。

議会終了後、一ヶ月で議会だより発行を目標にしています。委員の役割分担や、パソコンを活用して、わかりやすく身近でリアルタイムな広報紙になるように、委員一同がんばります。

議会中継の可能性も

各世帯に、光ケーブル網整備をしてない本町は、情報社会からも過疎地域です。

参議院選挙からネット選挙が解禁となる中、益々時代から置き去りになると心配をしています。

某通信会社のホームページによると、LTEという高速データ通信の利用拡大エリアに根雨・黒坂地区が9月末の予定と書いてありました。情報格差からの脱却を意味します。

「開かれた議会」を目指す

本町議会は、これを契機に議会中継など議会活動の伝達方法を検討する時期と考えます。町執行部も、高速データ通信を生かした施策が求められます。

委員はつぎのとおりです。

委員長	安達 幸博
副委員長	松原 直人
委員	佐々木 求
委員	小谷 博徳
委員	松本 利秋
委員	梅林 智子



町内で高速データ通信

総務経済 常任委員会 報 告

産業を応援

「開かれた議会」「出かける議会」「議会活性化」推進のために、この2年間常任委員会の定期開催に努めてきました。

町内各種団体との「意見交換会」も積極的に行い、農業委員会・森林組合・農林振興公社・商工会・社会福祉協議会などそれぞれの立場の意見を伺うことが出来ました。

又町営バスの問題を検討する際には伯耆町のデマンドバスの視察を行いました。執行部への提言が必要と思われるものについては積極的に行ってまいりました。

いよいよ任期が後半の2年に入り委員会の構成も大きく変わりました。

しかし、当初の目的にそつて、委員一同一層確実な流れとするため、引き続き前進させたいと考えています。

従来から行っています、町民の皆さまからの陳情、請願などの審議は当然のことながら、各自治会など直接の要望などにも応えるよう全力を

くしてまいります。

そのためにもこれまで以上に町内各種団体との交流や協力を深めて行きたいと考えています。

また、激動する時代の中で一朝一夕に道の見い出せない課題や、複雑な事態も起こるかもしれません。

住民の立場に立った議論をつくすことで一つ一つ取り組みたいと考えています。

委員は、次のとおりです。

委員長	佐々木 求
副委員長	中原 信男
委員	竹永 明文
委員	松原 直人
委員	小谷 博徳



現地調査をする議員（津地）

健康と生きがいづくり

教育民生 常任委員会 報 告



教育民生常任委員会は、教育関係全般と医療・福祉が受け持ち分野です。

本町は、過疎に加えて少子化が進み、近年の出生者数は10人台となっています。

一方、高齢化も進み高齢化率が42%に達しました。

住民の皆さまが、健康で生きがいを持って暮らしていくことが大切と考えます。

そのためには、どのようにしたらよいかが課題となっています。

そこで、住民の健康の維持増進と、生活を守っていくために、行政施策のチェックを重ねていきます。

最小の経費で最大の効果が得られるよう、事業実施の成果を検証します。

また、給食を始めとする食の安全や各事業が計画通り実施されているか検証してまいります。

①月1回を目標に委員会を開催し、迅速に諸問題に対応

するとともに、執行部に提言していきたいと思います。
②テーマに沿って町執行部や各団体との意見交換を実施します。

③現地視察、調査、また自治会に出かけての広聴活動（議会広報常任委員会が主体）に力を入れるとともに、広報活動も行つて行き、町民の皆様とともに、住みやすいまちづくりの実現のために、頑張りたいと思います。

委員は、次のとおりです。

委員長	松本 利秋
副委員長	梅林 智子
委員	中原 明
委員	安達 幸博
委員	佐々木 秀明



改修された町公舎を現地調査

特集 行動

がんばっている人・団体を、シリーズで紹介します。

働くことで、元気

(小河内集落)

丹精こめて育てた野菜が、出荷の時季を迎えました。どんな流通経路を経て、どなたに買われるのだろうか。どのように料理されて食卓に上がるのだろうか。美味しいと喜んでもらえるのだろうか。お客様の顔が脳裏をよぎります。



出荷作業

出荷する野菜を前にして、出来ぐあいや相場など、お茶、菓子、果物を持ち寄ってリラックスして、情報交換するのが習慣となつています。青果市場から来た車に積み込んだ後は、また、茶飲み話に花が咲きます。

小河内集落では、5月から12月まで四季折々の野菜を週2回ずつ米子、岡山の青果市場に出荷しています。当日は、朝8時前になると会員がコンテナに入れてネコ車などに積んで集荷場所に集まります。今回、雨の日にもかかわらず、ズッキーニ、キャベツ、タケノコ、キュウリ、ナス、玉葱など10品目が集まりました。



お茶飲み談義

これによって会員の団結とやる気が芽生え、元気が湧いてきます。

小河内集落16戸の内、現在9戸が野菜の出荷をしており、早いもので15年になります。会員は、歳を取ってきましたが、生甲斐を持って野菜作りに従事するようになってから皆が元気になりました。

小河内集落は、国民健康保険の医療費が他集落の半分程度であるとお聞きし、我ながら喜んでいきます。

会員皆が、元気であることに誇りにし、消費者の皆さんに小河内で生産されたものは、美味しいと喜んでいただける野菜作りに、頑張って行きたいと思っています。(小林実筆)

あとがき

◇今年の梅雨入りは、例年より12日も早かったのですが、空梅雨で暑い日が続き、日野川に取水制限がだされました。畑・田んぼの水不足、アユの生育を心配していました。6月後半に梅雨らしくなり恵みの雨にほっとします。

その昔、奈良時代に干ばつのため五穀の苗が枯れ、この地の神社に、雨を祈り国土が潤ったという、日野町誌に紹介されている根雨の地名の言われ「根っこに雨が」を思い出しました。今年の五穀豊稔を祈ります。

◇議会の各委員会委員の構成は2年で改選となります。

委員の改選の方法は、議員10名を、最初に総務経済常任委員会と教育民生常任委員会それぞれ希望の委員会に5名ずつ配属します。次に、2つの常任委員会から3名ずつ議会広報常任委員を選びます。最後に総務経済、教育民生の各委員会から、1名ずつと委員長を議会運営委員に選出します。副議長の5名で議会運営委員会を構成します。2年間どうぞよろしくお願ひします。

安達 幸博